

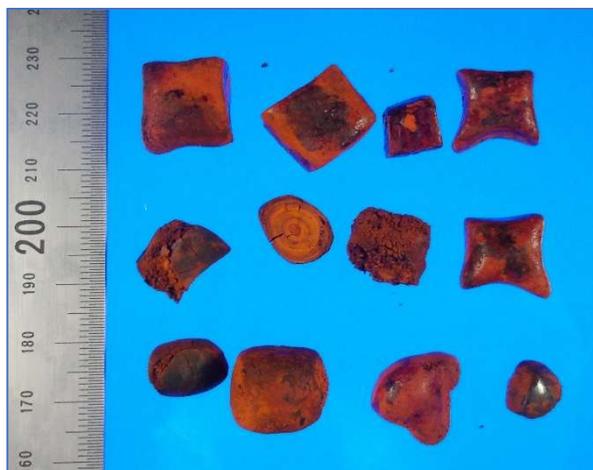


広島市食検だより

2026年3月 第81号



最高の漢方 牛黄について



大きさは約0.5～1cmで黄褐色の塊

牛の内臓検査をしていると牛黄（ごおう）と呼ばれる漢方の薬材が採れることがあります。

牛黄の正体は胆石症にかかった牛の胆のうや胆管に形成される結石です。この結石は1000頭に1頭の割合でしか採れないものといわれている非常にまれなもので、実際に検査を行っていてもなかなか遭遇することのない珍しい病変です。

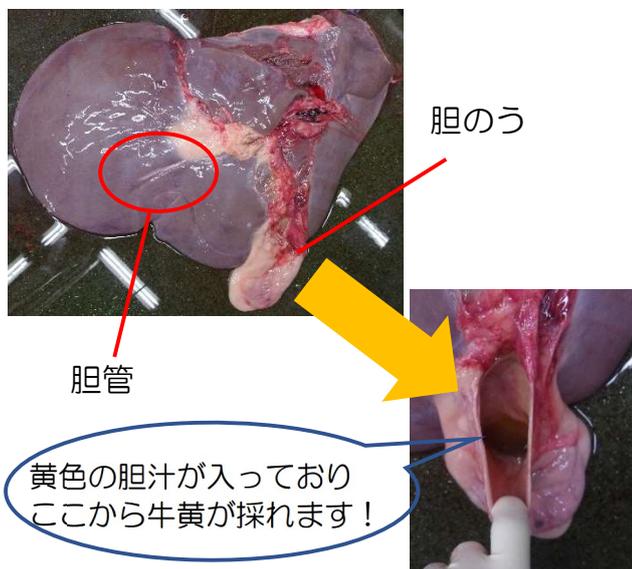


牛黄の効果



作用としては鎮静、強心、抗炎症作用、解毒作用などがあるとされており肉體疲労、肝硬変、心筋梗塞、腎臓病、糖尿病など様々な症状に対して有効性があるとされています。

牛の肝臓



胆のうは肝臓で作られた胆汁という消化液を貯蔵している臓器です。胆汁は牛では十二指腸に向けて食物の消化のために放出されます。この胆汁が固まり結石となったものが牛黄です。

また、胆石症になった肝臓や結石は検査により取り除かれているため、市場に流通することはありません。